



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,955	△6.3	108	5.9	198	64.7	134	104.4
2020年3月期第2四半期	4,223	9.5	102	-	120	-	66	-

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 189百万円(431.1%) 2020年3月期第2四半期 35百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	74.45	-
2020年3月期第2四半期	36.18	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,965	7,135	71.2
2020年3月期	9,887	6,980	70.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,091百万円 2020年3月期 6,936百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,850	0.1	330	5.3	380	1.7	280	6.6	154.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,876,588株	2020年3月期	1,876,588株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	58,619株	2020年3月期	68,024株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,812,595株	2020年3月期2Q	1,824,531株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延の影響により極めて厳しい状況となりました。経済活動の再開と感染防止の両立が求められるなか、ウイズコロナの新たな活動を模索しており、景気の先行きが見通しにくい状況が続きました。

食品業界におきましては、消費者の安全・安心への関心が益々高まるなか、食品衛生法改正により本年6月に「食品等事業者」へのHACCP(ハサップ)の導入が義務付けられ、一段と高い品質・衛生管理体制の整備が求められております。また、経営面では、少子化が進み量的な拡大が見込めない一方、製造コストの増加傾向が今後も強まっていくものと思われまます。とりわけ、輸入原材料などに多くを依存していることによる為替変動リスクに晒されているほか、人件費や物流コストの上昇など負担は益々増大しております。なお、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響は徐々に薄まっておりますが、消費者の外出自粛ムードの継続により在宅の長期化が進み、一般家庭用商材については巣ごもり消費が継続しています。

このような状況のなか、当社グループでは、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000の認証取得及びバージョンの更新を引き続き実施しており、品質の維持・向上や合理化のための設備投資を継続的かつ積極的に行っております。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響については、農林水産省より食料安定供給の観点から事業継続のガイドラインが発信されており、当社グループでは感染予防に十分な対策を取り、市場への円滑な商品提供に万全を期しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、従来の営業活動が制限される中、売上高は好調だった前年度には及ばず、39億5千5百万円(前年同期比6.3%減)となりました。利益面では、経費削減が進み、営業利益は1億8百万円(同5.9%増)、経常利益は前年度に発生した食品事故を含む受取保険金計上があったため、1億9千8百万円(同64.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3千4百万円(同104.4%増)となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

#### [凍豆腐]

凍豆腐では、引き続き市場拡大・活性化を図るべく活動してまいりました。とりわけ、当社グループの食品研究所にて健康機能性についての研究を推進し、乳児アトピー性皮膚炎改善の効果検証を発表したほか、高野豆腐や高野豆腐のおからパウダーの食後血糖値抑制効果について発表するなど製品価値の訴求に努めてまいりました。しかし、売上高は業務用商材において、緊急事態宣言による外食等の制限や全国一斉臨時休校による学校給食の中止を受け、非常に厳しい状況が継続しており、一般家庭用商材については巣ごもり消費が継続しているものの、メディアでの紹介などで好調であった前年同期には及ばず、19億3千3百万円(同5.6%減)となりました。なお、毎年11月3日を「高野豆腐の日」と定め、より一層業界を挙げて普及活動に努めております。

#### [加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、単品収益管理の徹底により不採算アイテムの改廃を進め収益力の改善に引き続き努めております。また、大手コンビニエンスストアと共同でカップ入りタイプの新商品開発の取り組みを行いました。しかし、袋入りタイプの市場における価格競争などは依然激しく、収益性が悪化した商品の改廃を進めたことにより、売上高は10億2千6百万円(同8.8%減)となりました。

#### [その他食料品]

その他食料品では、売上高は9億9千6百万円(同5.2%減)となりました。中でも主力の医療用食材につきましては、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大防止対策などによる影響から、病院や介護施設・給食会社などでの需要減を受け、低調に推移いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べ7千8百万円増加し99億6千5百万円（前連結会計年度比0.8%増）となりました。これは、売上高減少に伴う受取手形及び売掛金の減少2億2千4百万円があったものの、たな卸資産の増加1億9百万円や、無形固定資産の増加6千2百万円、投資有価証券の評価差額金などでの増加7千8百万円があったことが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ7千6百万円減少し28億3千万円（同2.6%減）となりました。これは、短期借入金の増加1億8千8百万円や設備関係支払手形の増加3千9百万円があったものの、返済に伴う長期借入金の減少2億2千9百万円などが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ1億5千4百万円増加し71億3千5百万円（同2.2%増）となりました。これは利益剰余金の増加7千7百万円や、投資有価証券の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加6千2百万円などがあったことによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ1.0ポイント増加し71.2%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増加は3億3千7百万円（前第2四半期連結累計期間2億4千2百万円の増加）であります。

資金の増加の主な要因は、たな卸資産の増加額1億1千万円、仕入債務の減少5千4百万円、未払金の減少額4千万円により減少したものの、税金等調整前四半期純利益1億8千4百万円の計上や減価償却費で2億5千2百万円の計上、売上債権の減少額2億2千4百万円により増加いたしました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、3億3千7百万円（同2億7千5百万円の減少）であります。

資金の減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出2億1千1百万円、無形固定資産の取得による支出5千万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1億1千1百万円（同3億9千万円の減少）であります。

資金の減少の主な要因は、短期借入金により1億9千7百万円増加したものの、長期借入金の返済による支出2億3千8百万円、配当金の支払額5千3百万円によるものです。

以上により当第2四半期連結累計期間末における資金は前連結会計年度末に比べ1億1千6百万円減少し、9億4千7百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,298,571	2,256,853
受取手形及び売掛金	1,511,019	1,286,251
たな卸資産	826,784	935,873
その他	66,220	152,649
貸倒引当金	△4,928	△5,890
流動資産合計	4,697,666	4,625,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,844,094	5,840,475
減価償却累計額	△4,551,742	△4,587,941
建物及び構築物(純額)	1,292,352	1,252,534
機械装置及び運搬具	6,821,122	6,889,597
減価償却累計額	△5,450,528	△5,546,242
機械装置及び運搬具(純額)	1,370,593	1,343,354
土地	1,703,573	1,703,573
リース資産	193,595	187,181
減価償却累計額	△126,669	△117,728
リース資産(純額)	66,925	69,452
建設仮勘定	940	71,878
その他	445,454	457,004
減価償却累計額	△378,138	△380,609
その他(純額)	67,315	76,394
有形固定資産合計	4,501,701	4,517,189
無形固定資産	92,548	155,009
投資その他の資産		
投資有価証券	529,463	607,974
繰延税金資産	10,256	6,950
その他	58,985	56,304
貸倒引当金	△3,227	△3,227
投資その他の資産合計	595,477	668,001
固定資産合計	5,189,726	5,340,200
資産合計	9,887,393	9,965,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	541,449	483,036
短期借入金	502,264	690,518
リース債務	31,459	31,514
未払金	340,913	339,026
未払法人税等	41,743	41,973
賞与引当金	96,584	62,400
設備関係支払手形	134,110	174,102
品質関連損失引当金	14,441	1,035
その他	128,755	130,508
流動負債合計	1,831,723	1,954,114
固定負債		
長期借入金	946,147	716,263
リース債務	42,409	44,294
長期末払金	31,147	30,676
繰延税金負債	-	29,984
資産除去債務	48,089	48,140
その他	7,050	7,050
固定負債合計	1,074,843	876,409
負債合計	2,906,566	2,830,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,947,011	4,024,130
自己株式	△166,508	△143,487
株主資本合計	7,030,770	7,130,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△142,922	△80,381
為替換算調整勘定	48,591	40,544
その他の包括利益累計額合計	△94,331	△39,836
非支配株主持分	44,387	44,339
純資産合計	6,980,826	7,135,413
負債純資産合計	9,887,393	9,965,938

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	4,223,409	3,955,550
売上原価	2,957,031	2,802,126
売上総利益	1,266,377	1,153,424
販売費及び一般管理費	1,163,884	1,044,889
営業利益	102,492	108,535
営業外収益		
受取利息	2,060	1,934
受取配当金	7,234	7,437
受取賃貸料	147	1,859
受取保険金	1,251	65,274
受取技術料	5,486	11,650
補助金収入	580	2,684
雑収入	6,042	3,910
営業外収益合計	22,803	94,750
営業外費用		
支払利息	3,682	2,934
賃貸収入原価	-	1,584
雑損失	1,381	760
営業外費用合計	5,064	5,279
経常利益	120,232	198,006
特別利益		
固定資産売却益	-	534
品質関連損失引当金戻入益	-	213
特別利益合計	-	748
特別損失		
固定資産除却損	3,920	3,654
有価証券評価損	7,393	-
品質関連損失	-	10,413
特別損失合計	11,314	14,067
税金等調整前四半期純利益	108,917	184,688
法人税、住民税及び事業税	9,964	29,640
法人税等調整額	32,729	19,263
法人税等合計	42,693	48,903
四半期純利益	66,224	135,784
非支配株主に帰属する四半期純利益	206	845
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,017	134,939



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	66,224	135,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,639	62,541
為替換算調整勘定	△13,927	△8,941
その他の包括利益合計	△30,567	53,600
四半期包括利益	35,657	189,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,843	189,433
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,186	△48

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	108,917	184,688
減価償却費	264,791	252,135
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△225	1,055
賞与引当金の増減額(△は減少)	△68,760	△34,184
退職給付制度移行未払金の増減額(△は減少)	△806	△631
受取利息及び受取配当金	△9,295	△9,371
支払利息	3,682	2,934
固定資産売却損益(△は益)	—	△534
固定資産除却損	3,920	3,654
投資有価証券評価損益(△は益)	7,393	—
売上債権の増減額(△は増加)	152,222	224,273
たな卸資産の増減額(△は増加)	△76,804	△110,085
仕入債務の増減額(△は減少)	51,238	△54,660
未払金の増減額(△は減少)	△58,852	△40,539
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,404	11,805
その他	△90,398	△71,862
小計	254,619	358,677
利息及び配当金の受取額	9,302	9,492
利息の支払額	△3,277	△3,047
法人税等の支払額	△18,581	△27,301
営業活動によるキャッシュ・フロー	242,062	337,822
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,199,594	△1,203,999
定期預金の払戻による収入	1,183,738	1,129,406
有形固定資産の取得による支出	△242,114	△211,688
有形固定資産の売却による収入	—	1,070
無形固定資産の取得による支出	△15,379	△50,072
投資有価証券の取得による支出	△1,891	△1,942
貸付金の回収による収入	—	150
その他	△83	△129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△275,322	△337,205
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	197,000
長期借入れによる収入	10,000	—
長期借入金の返済による支出	△262,795	△238,630
リース債務の返済による支出	△22,720	△16,575
自己株式の取得による支出	△61,546	—
配当金の支払額	△53,873	△53,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	△390,934	△111,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,978	△5,402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△430,173	△116,310
現金及び現金同等物の期首残高	1,429,926	1,064,133
現金及び現金同等物の四半期末残高	999,752	947,822

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

品質関連損失

2019年10月3日に公表致しました当社一部製品が原因の食品事故発生に伴い、本件に係る費用を品質関連損失として計上しております。

当該損失の主な内容は、品質関連損失引当金繰入額であります。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。